

令和2年10月 1日

東京都小学生バレーボール連盟
皆様へ

東京都小学生バレーボール連盟
会長 片野 昭秀
理事長 大久保裕二

都小連活動ガイドラインに対する活動自粛の取り組みについて(注意喚起)

日頃より、都小連の事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの収束が見えない中、都小連のガイドラインを順守されながら活動されていることに感謝申し上げます。また、東京新聞・東京中日スポーツ杯の支部予選を行う中で、チーム関係者の皆様及び保護者の皆様には、大変なご苦勞をおかけしていることと思います。

さて、先日はチームの活動についてのアンケートにお答えいただき、ありがとうございました。

都小連では、新型コロナウイルスの感染予防を念頭に置き、安全に活動ができるようガイドラインを示したり、「今後の活動について」の追加文書を作成したりしながら進めてまいりました。しかし、一部のチームでは、自粛することを示したにもかかわらず、合宿を実施したり、長時間の練習をしたりしていたチームがあったことが報告されました。都小連が示した文書に「自粛」という表現を使いましたが、国や都でも自粛という言い方をしていましたので同様に合わせました。自粛は決して強制するものではありませんが、子どもたちの安心・安全のリスクを考慮すると「合宿や長時間の練習は辞めてほしい。」という思いでした。しかし、この思いを伝えられなかったことは、私たちの反省するところです。

また、指導者の方々からたくさんのご意見をいただきました。特に「小学校の体育館が使えない中、高い料金を払って地域の体育館や近隣県の体育館を借りることができたので、長い時間練習をしたい。」というご意見を初めとして指導者の皆様の子どもたちに思いっきりバレーボールをさせたいという熱心な気持ちが伝わってくるものが多数ありました。国や都の規制の見直しもあり、「新たな日常」に向けて都小連でも本日より、昼食をはさんでの練習や練習試合を認めることとしました。感染予防に十分に配慮しながら活動をしてください。

今後も、都小連では感染の状況を考慮しながら追加の文書を発信していきます。今回のガイドライン等の周知にあたりましては、「ホームページを毎日見ていないので見落とすことがある。」というご意見もありました。そのような状況も踏まえ MRS からのメールや支部連絡責任者からのメールも活用しながら、皆様にお伝えしていきます。

チームの皆様におかれましては、都小連からの周知連絡をご理解いただき、必ずお守りいただきますよう重ね重ねお願い申し上げます。